

2027年3月期（第209期）第1四半期決算について

2026年7月30日

大阪ガス株式会社

1. 経 営 成 績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 決算の概要

当第1四半期の売上高は、前年同期並みとなりました。経常利益は、国内エネルギー事業における原料価格などの変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグ(*1)による減益影響などにより、減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、減益となりました。

なお、タイムラグ影響を除いた経常利益は、増益となりました。

(*1)原料価格及び燃料価格の変動が、原料費調整制度及び燃料費調整制度に基づく販売単価に反映されるまでには一定の時間差があるため、一時的な増減益要因となります。

[単位：億円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
連 結	4,780 (+1.5%) [4,709、+ 70]	313 (△34.3%) [476、△ 163]	502 (△15.3%) [593、△ 90]	356 (△26.5%) [485、△ 128]
タイムラグ影響を除いた実績			579 (+28.1%) [452、+ 127]	—

[] 内は前年同期実績及び対前年同期差、()内は対前年同期増減率

(2) セグメント別概況

「国内エネルギー」のセグメント利益は、原料価格などの変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグによる減益影響などにより、減益となりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、前年同期並みとなりました。「ライフ&ビジネス ソリューション」のセグメント利益は、都市開発事業での増益などにより、増益となりました。

[単位：億円]

	売上高	セグメント利益 (注)
国内エネルギー	3,797 (△ 0.6%) [3,821、△ 24]	39 (△85.0%) [266、△ 226]
海外エネルギー	343 (+ 0.6%) [341、+ 1]	267 (+ 1.0%) [265、+ 2]
ライフ&ビジネス ソリューション	763 (+13.4%) [672、+ 90]	61 (+34.0%) [45、+ 15]

(注)セグメント利益：営業利益＋持分法投資損益

[] 内は前年同期実績及び対前年同期差、()内は対前年同期増減率

(3) 国内ガス販売実績

国内の連結ガス販売量[45MJ/m³]は前年同期を下回りました。家庭用のガス販売量は、高気水温の影響などにより、前年同期を下回りました。業務用等のガス販売量は、特定のお客さま先での設備稼働減などにより、前年同期を下回りました。

連 結 ガ ス 販 売 量 (百 万 m ³)	1,489 (△ 2.3%)
家 庭 用	348 (△ 4.9%)
業 務 用 等	1,141 (△ 1.5%)
連 結 ガ ス 供 給 件 数 (千 件)	5,174 (+ 1.0%)

()内は対前年同期増減率

(4) 国内電力販売実績

国内の電力販売量は、卸等での販売量の増加により、前年同期を上回りました。

電 力 販 売 量 (百 万 k W h)	3,741 (+ 7.7%)
小 売	1,412 (△ 3.1%)
卸 等	2,329 (+15.5%)
低 圧 電 気 供 給 件 数 (千 件)	1,960 (+ 1.3%)

()内は対前年同期増減率

2. 当期（2027年3月期）の業績予想

最近の市況変動等を踏まえた結果、2027年3月期の業績予想に変動が生じることになったため、業績予想を修正します。

【2027年3月期の連結業績予想数値の修正】

[単位：億円]

	今回業績予想	前回業績予想 (2026年5月8日公表)	前回業績予想 との差
売 上 高	21,700 (+ 6.9%)	20,700	+ 1,000
営 業 利 益	1,500 (△14.2%)	1,500	± 0
経 常 利 益	1,900 (△ 7.1%)	1,900	± 0
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,450 (△ 5.1%)	1,450	± 0

()内は対前期増減率

(参考) 今回業績予想における原油価格・為替レート的前提

	第1四半期累計 実績 (2026年4月～6月)	第2四半期以降 予想 (2026年7月～2027年3月)	2027年3月期 通期見通(年間平均)
原油価格 (全日本C I F 価格) ドル/バレル	112.7	80.0	87.8
為替レート (T T M) 円/ドル	159.6	160.0	159.9

・前回予想時の2026年4月～2027年3月における前提

原油価格(全日本C I F 価格) : 65 ドル/バレル・為替レート(T T M) : 155 円/ドル

以 上